



株式会社グリーンエナジー&カンパニー
(証券コード:1436)

トップセールスの『暗黙知』をAIが完全言語化 新人即戦力化とマネジメント革新を同時に実現する 「GXコーチング プラットフォーム」稼働開始

～「教える」から「AIと共に育つ」へ。人的資本経営を加速させる次世代育成モデル～

株式会社グリーンエナジー&カンパニー(本社:東京都港区・徳島県板野郡、代表取締役:鈴江 崇文)の100%子会社である株式会社グリーンエナジー・ライフ(代表取締役:竹村 敏之)は、住宅不動産業界の構造的課題である「人材不足」と「育成の属人化」を根本解決するため、生成AIを活用した自律型人材育成システム「GXコーチング プラットフォーム」を開発しました。

本プロジェクトは、当社の中期経営計画「Green300」および長期ビジョン達成に向けた「生産性経営」の中核戦略です。最新の生成AI技術(Gemini、NotebookLM、Claude等)を複合的に実装し、商談の可視化からフィードバックまでを自動化。「経験年数＝実力」という業界の常識を覆し、誰もがトップセールスの品質を再現できる組織基盤を構築します。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社グリーンエナジー&カンパニー 広報:梅津 Tel.080-3523-0792 Mail.info@green-energy.co.jp

■ 私たちの想い:AIは、人の可能性を最大化するためにある

「効率化」や「省人化」だけで終わらせない。私たちのAI活用の真の目的は、「人の価値を高めること」です。AIが信頼できるコーチとして寄り添うことで、社員は心理的負担なく挑戦し、成長できる。

「主役は、これまでも、これからも人。」

グリーンエナジー・ライフは、テクノロジーとヒューマニティが融合した新しい働き方を、社会に向けて提案し続けます。

■ なぜ今、「AIコーチング」なのか？（開発背景）

不動産業界は現在、「生産年齢人口の減少」「働き手の価値観多様化」「顧客の情報武装化」という『三重の構造変化』に直面しています。従来の「背中を見て覚えろ」式のOJTや、プレイングマネージャーによる属人的な指導は限界を迎えています。

私たちはこのピンチを最大のチャンスと捉えました。「AIをパートナーにする」ことで、時間と場所に縛られない質の高い教育環境を提供し、「未経験者が最短でプロフェッショナルになれる仕組み」を確立しました。

■ 本プラットフォームがもたらす「3つの革新」

1.【脱・属人化】「メラビアンの法則」に基づくマルチモーダル分析

商談やロープレの音声・動画をAIが解析。「言語(話の内容)」「聴覚(トーン・抑揚)」「視覚(表情・資料)」の3要素から、トップセールスとのギャップを定量的にフィードバックします。感覚的な指導ではなく、客観データに基づいた指導により、納得感のあるスキルアップを実現します。

2.【双方向の教育・評価改革】上司も部下も、データで公平に評価される時代へ

本システムは、一方的な指導ツールではありません。上司と部下、双方のコミュニケーションをAIが介在・評価することで、組織全体の質を高めます。

◎上司から部下へ(教育・評価):プロセス評価の実現

結果(売上)だけでなく、「商談品質」や「顧客への提案姿勢」がAIにより数値化されます。これにより、印象論や好き嫌いを排除した「公平で納得感のある人事評価」が可能となり、若手のエンゲージメントを高めます。

◎部下から上司へ(マネジメント改善):指導の質の可視化

「上司の指導が感覚的でないか」「トップセールスの論理と乖離していないか」をAIがチェックします。マネージャー自身の指導力もスコアリングされるため、パワーハラスメントの抑止や、管理職自身のコーチングスキル向上(逆教育効果)に繋がります。

3.【実効性の証明】「業務改善文化」×「AI」によるプロセスチェンジ

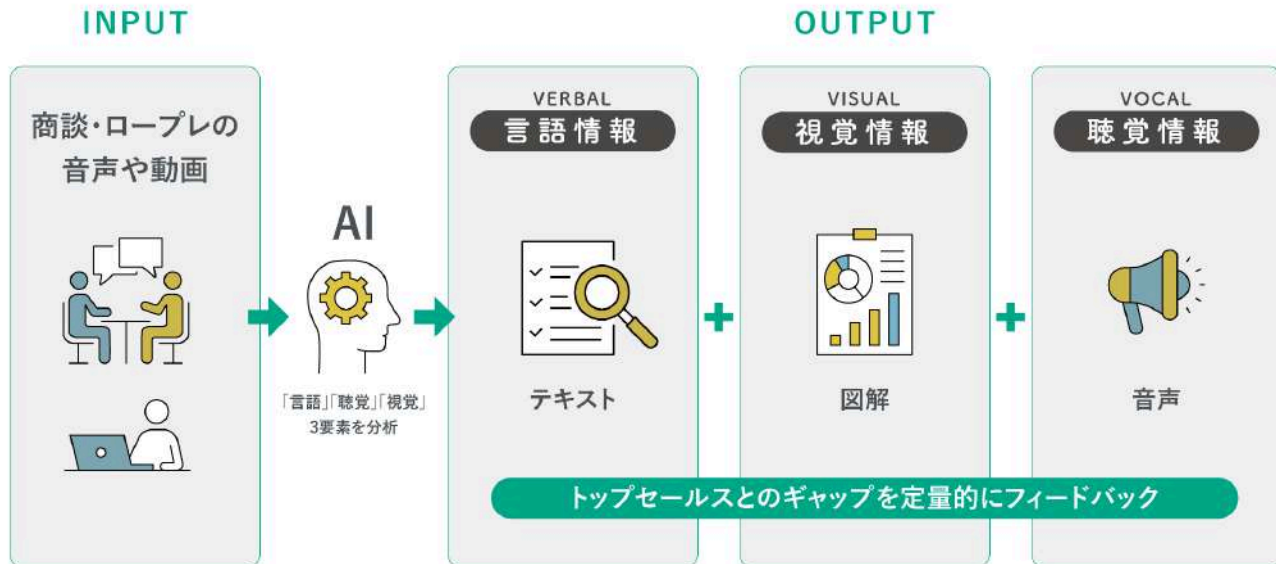
本システムは、単なる外部ツールの導入ではありません。当社にはもともと、標準化された業務に対して「道具・動作・手順」の改善を繰り返す「業務改善の文化」が根付いています。この強固な土台に対し、AIを「改善の

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社グリーンエナジー&カンパニー 広報:梅津 Tel.080-3523-0792 Mail.info@green-energy.co.jp

加速装置」として組み込むことで、現場発の改善提案の「数」と「質」が飛躍的に向上しました。営業・開発・技術・管理など、あらゆる部門の社員が日常的にAIを活用して、自身の業務を再定義（プロセスチェンジ）しており、その実践知が本プラットフォームの基盤となっています。

「メラビアンの法則」に基づくマルチモーダル分析



総合評価



AIロープレ フィードバック

★コメント機能（評価者用）

[illegible]

| スコア詳細分析

評価項目	評価	評価のコメント
① 国語の活用：読書、文の理解・作文力	4	読書の習慣や、やみくもに本を読むという行為が、読書習慣の定着に、効果的であると認識している。
② 読書を通じた自己表現、読者の共感	4	「アキラ」の登場人物「ミユ」になりきり、作文で、アキラの心情に寄り添う、共感できている。
③ 読書の楽しさや楽しみの共有に開き、読者の共感	4	読書の楽しさを話しているが、読書を通して、アキラの心情に寄り添う、共感できている。
④ 読書の楽しさや楽しみの共有を正しく理解している	4	読書の楽しさを話しているが、読書を通して、アキラの心情に寄り添う、共感できている。
⑤ 読書を通じた読者の共感に開き	5	読書の楽しさを話しているが、読書を通して、アキラの心情に寄り添う、共感できている。

5人のスペシャリストからの視点

- ▶ All 店：資料のし入れにもお返してませんか？おちては所作に寄ります。 [2分]
 - ▶ All 店：「なぜ、店に暇が欲しいのか？その人の感情を察してみたいよ。」 [2分]
 - ▶ All 店：情報過多はノイズです。増少性の貧乏性という「Why」を明確に伝えましょう。 [2分]
 - ▶ All 店：売れない物件を売る。その裏技が素晴らしい！お客様の真中をしゃっかり押さえた！ [2分]
 - ▶ All 店：「知ってます」は単独の「や」直後の機能を果たさへんのや！ [2分]

1 分析サマリー & Highlights

強み (KEEP)

最新の技術と最新のスキルを駆使して、ソフトウェアの開発と運用を迅速に、柔軟に実現する能力が特長。

課題 (PROBLEM)

開発環境の複雑化、ソフトウェアのバージョン管理、開発環境を効率的に運用するためのノウハウ不足。

今回のハイライト (良かったこと・明日から継続できること)

- 1. 開発環境の構築を自動化し、再現性を高めることに成功。CI/CDパイプラインを導入し、ビルドとテストの自動化を実現。
- 2. 開発者の生産性を向上させるために、クラウド環境での開発環境を構築。コスト削減と柔軟性を両立。
- 3. 開発環境のセキュリティを強化し、脆弱性の脆弱性を発見・修正。セキュリティ対策を徹底。
- 4. 開発環境の運用を自動化し、運用コストを削減。自動化による「楽さ」とパフォーマンス向上を実現。

Next Step

[illegible]

AIキャラクター診断

[illegible]

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

株式会社グリーンエネルギー&カンパニー 広報:梅津 Tel.080-3523-0792 Mail.info@green-energy.co.jp

＜グリーンエネルギー&カンパニー グループ全体で、現場から生まれたAI活用事例＞

- **自律型AIエンジニア「Devin」導入:** 外部委託していたシステム開発を内製化し、開発コスト約94%削減・期間60%短縮を実現。
- **AI査定ツール「査定デキルくん」開発:** 従来2営業日要したFITセカンダリ査定を約30秒へ短縮し、顧客提案スピードを劇的に向上。
- **土地情報の自動スクリーニング:** Google EarthとAIを連携させ、膨大な候補地から法規制や周辺環境を瞬時に判定。仕入れ判断の精度と速度を最大化。
- **施工管理の工期分析:** 着工から完工までのパフォーマンスをAIが「スピード」「安定性」等の指標で分析。属人化しがちな工程管理を適正化し、工期遵守率を改善。
- **クリエイティブ生成:** ラフな建築パースからのイメージ画像生成や、写真からの動画作成をAIで内製化。外注コストを削減しつつ、魅力的な販促物を短時間で制作。
- **AIによる業務改善提案の評価:** 社員が提出した改善案に対し、AIが「効率化」「コスト削減」などの5つの軸で即座に採点・フィードバックを行い、改善の質を高めるサイクルを確立。

グリーンエナジー・プラス

※貸費負担あり

自動査定ツール 査定デキルくん

① 内電線 (円)

2410000

② 戸建年数 (年)

12.5

計算する

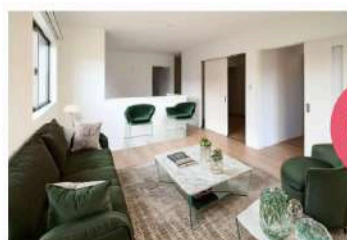
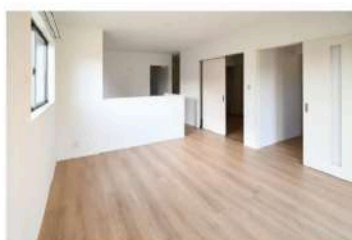
査定額

16,893,509 円

AI査定ツール

The screenshot shows the 'Land Data View' page on the 'Land Data Bank' website. The page features a navigation bar at the top with the site name and a search bar. Below the navigation bar, there are several tabs for different types of land data, including 'Land Data View', 'Land Data Detail View', 'Land Data Search', 'Land Data Filter', 'Land Data Sort', and 'Land Data Export'. The main content area displays a list of land parcels, each with a thumbnail image, a title, and a brief description. The list is organized into a table with columns for 'Location', 'Area', 'Price', and 'Status'. A red circular overlay on the right side of the image contains the text '開示 94%' (Disclosure 94%).

自律型AIエンジニア「Devin」にてシステム開発



バーチャルホームステージング

■ 本システム導入による定量的短期インパクト目標

- 新人育成スピード：研修期間を4ヶ月→3ヶ月へ（25%短縮）
- 営業生産性：商談化率 20%→25%へ向上
- 組織健全性：離職率 約20%改善

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

株式会社グリーンエナジー&カンパニー 広報:梅津 Tel.080-3523-0792 Mail.info@green-energy.co.jp

■ 今後の展望:グループ全体、そして加盟店様と共に成長する未来へ

本プラットフォームは、当社の「いえとち本舗」直営店での運用実績を基に、グリーンエナジー&カンパニーの事業全体へと順次展開してまいります。特に、全国のフランチャイズ加盟店様へ向けには、2026年の春の公開を予定しております。これにより、地方の工務店が抱える採用・育成難を解消し、地域経済の活性化に強力に寄与します。私たちは、この技術を通じて、労働人口が減少する社会においても、「対人コミュニケーション」という人間にしか生み出せない価値を最大化し、業界全体の持続可能なインフラとなることを目指します。

グリーンエナジー&カンパニーの取組

グリーンエナジー&カンパニーは、「個人が主体となる"太陽を源にしたエネルギー"の創造」と、それによって実現する「グリーンで電気代がかからない暮らし」という新しいインフラ創りへの挑戦をしております。エネルギーを創り出すことで資産を生かす〈プライベート発電所〉や、発電されたエネルギーを貯めて送電線を通して電力を送るための〈系統用蓄電所/系統用蓄電池 GX-Pack〉、家計にゆとりを生む〈ネットゼロ・エネルギー・ハウス〉などの提供を通じ、グループ会社として全国に輪を広げています。発電施設の開発実績は約5,300件に達しています(2025年10月時点)。

2024年11月にはアゼルバイジャンで開催された気候変動に関する国際会議「COP29」の日本経済新聞社主催のセミナーで、弊社の鈴江崇文社長がスピーチにて”家庭と個人事業者によるボトムアップで強力なGX”として「マイクロGX」を提唱しました。私たちは、新エネルギーに一人でも多くの人アクセス、そしてメリットを享受していけるようサービスを開発・展開、情報発信をしております。

<当社の概要>

社名	株式会社グリーンエナジー &カンパニー
所在地	【東京本社】東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル8F 【徳島本社】徳島県板野郡松茂町中喜来字群恵39-1
設立	2009年4月1日
資本金	970百万円(資本準備金含む 2025年5月30日現在)
代表者	代表取締役社長 鈴江 崇文
事業内容	GX関連企業で構成されるグループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務

<子会社の概要>

社名	株式会社グリーンエナジー・ライフ
所在地	【徳島本社】徳島県徳島市沖浜東一丁目44 【東京本社】東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル8F
設立	2023年7月11日
資本金	30百万円
代表者	代表取締役 竹村 敏之

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社グリーンエナジー&カンパニー 広報:梅津 Tel.080-3523-0792 Mail.info@green-energy.co.jp

事業内容	GXゼロエネルギーハウスの開発・販売
------	--------------------

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社グリーンエナジー&カンパニー 広報:梅津 Tel:080-3523-0792 Mail:info @green-energy.co.jp

▼「IR・取材に関するお問い合わせ」フォームからもご連絡いただけます

<https://green-energy.co.jp/contact/>

※本プレスリリースに記載されている数値目標や効果は、実証実験および開発段階での想定値を含みます。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社グリーンエナジー&カンパニー 広報:梅津 Tel.080-3523-0792 Mail.info@green-energy.co.jp